

# ＜小学館 新小学 1 年生に関する母親の意識調査＞ 調査結果

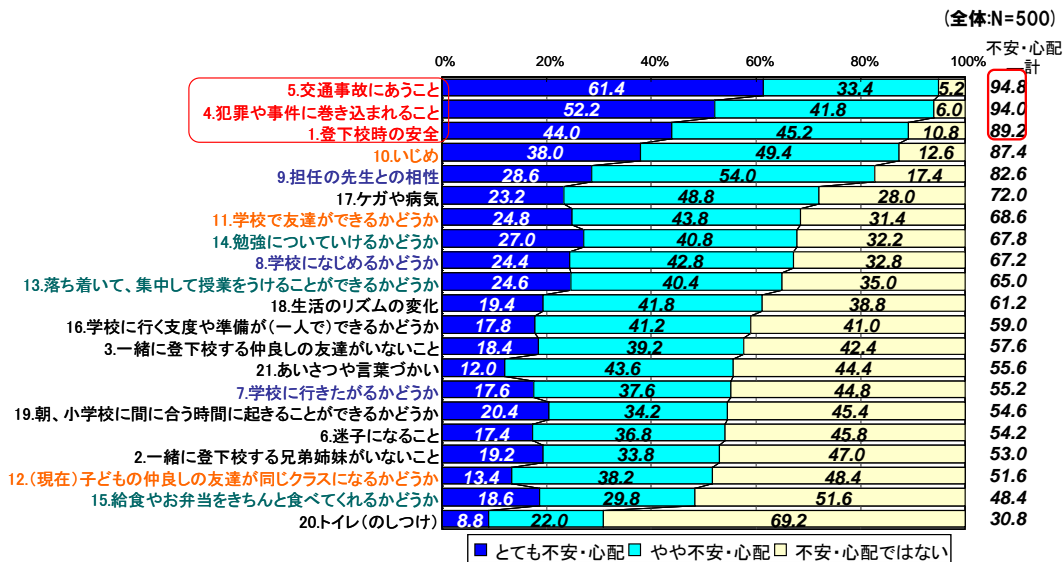
『小学館 新小学 1 年生に関する母親の意識調査』の調査結果や関連データは以下のとおりです。

## ◆小学校入学を控えた子どもの安全・防犯に関する意識

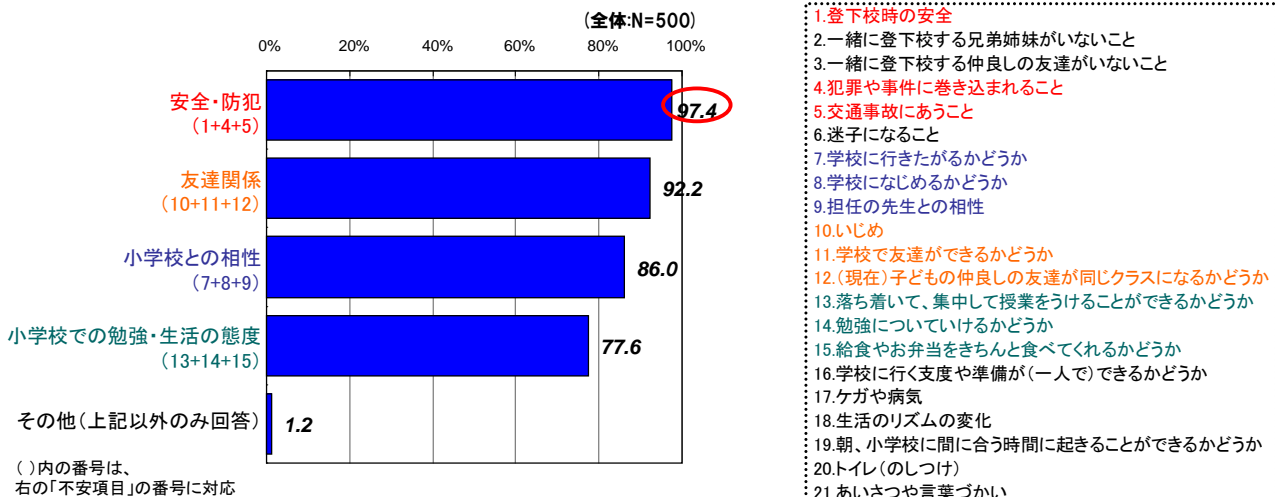
### 入学にあたり不安・心配なこと

Q. 来年 4 月（2011 年）に小学校への入学を控えたお子さんがいらっしゃる現在、そのお子さんの入学にあたって、心配なことや不安に感じていることはありますか。（SA）

- ・ 子どもの小学校入学にあたってのママの心配事は「交通事故」「犯罪や事件に巻き込まれること」が 94%、「登下校時の安全」が約 9 割と、“安全・防犯”がダントツ。
- ・ 「いじめ」も 87.4%と高率。



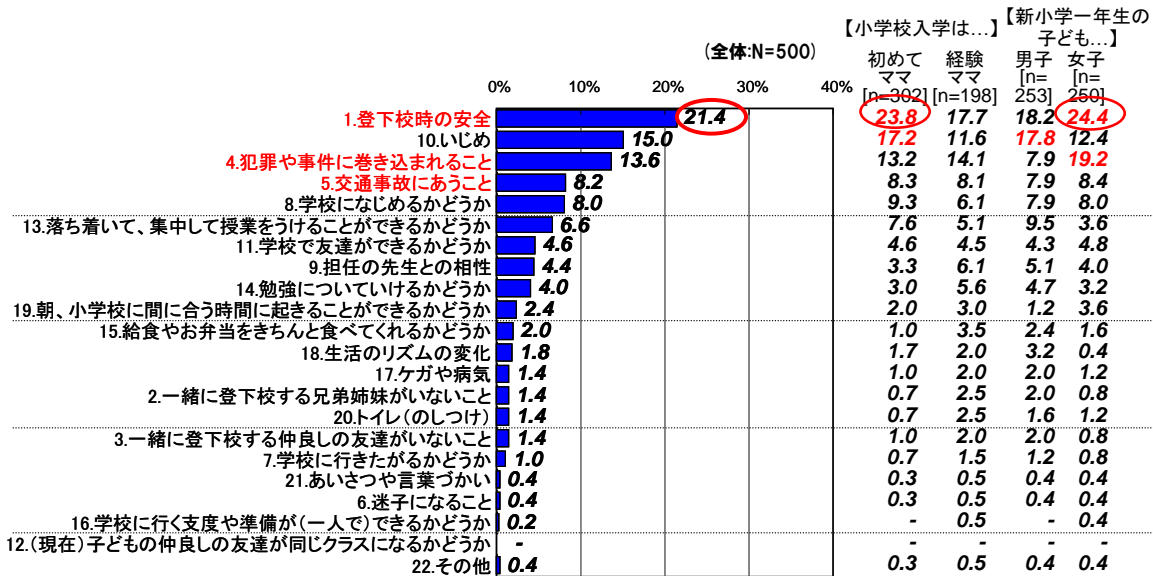
- ・ 上記の回答項目を分野ごとにまとめた結果を見ると ママが入学に対して不安に思うことは「子どもの“安全・防犯”」が 97.4%。
- ・ 「(いじめを含む)友達関係」も 9 割台に達する。「学校との相性」は 86.0%、「学校での勉強・生活の態度」は 77.6%。



## 入学にあたり最も不安・心配なこと

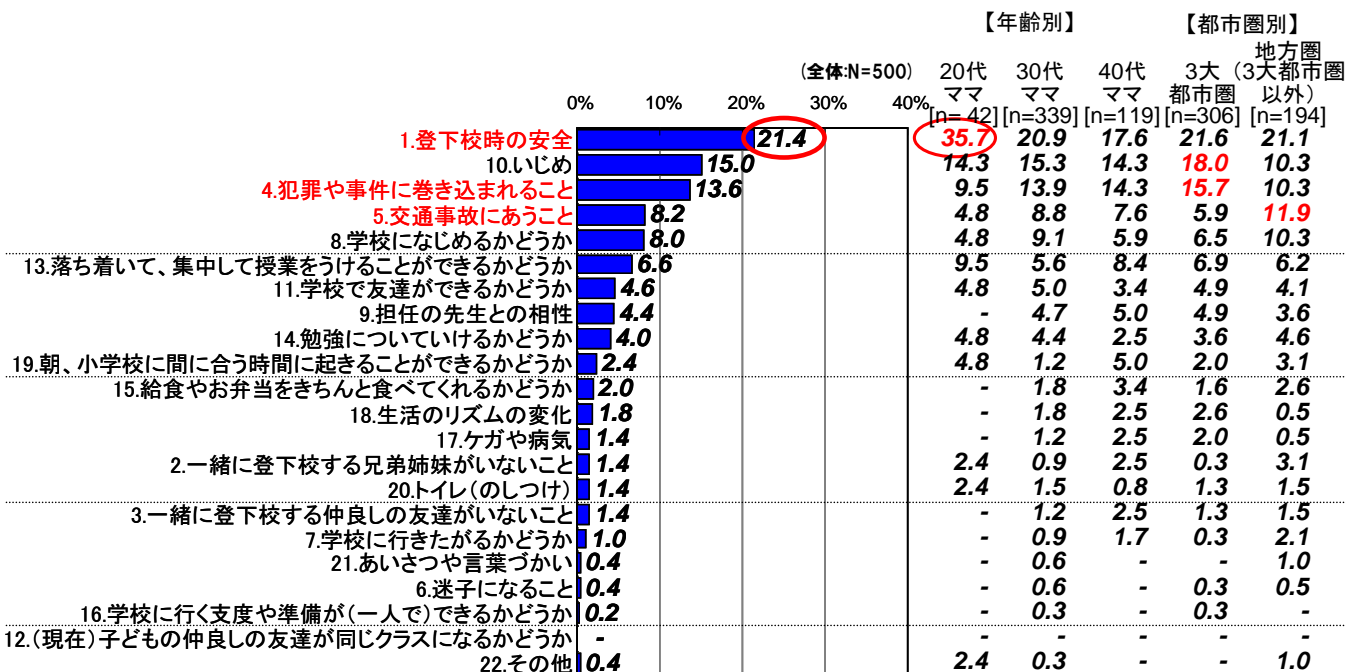
Q. お子さんの入学にあたって、最も心配なことや不安に感じていることは何ですか。一つだけお答えください。(SA)

- 子どもの小学校入学にあたってママが最も心配な事のトップは「登下校時の安全」で、21.4%と5人に1人が挙げている。以下、「いじめ」「犯罪や事件に巻き込まれること」「交通事故」。
- 「登下校時の安全」は（小学生以上の子どもがいる＝経験ママよりも）子どもの小学校入学が今回初めてのママの方が高く、また、男の子のママより女の子のママで高い。



【新小学一年生の子ども...】は男子・女子の双子以上との回答者がいることから複数回答(MA)の層となっている。以下同様。

- 「登下校時の安全」は若いママほど不安が強い傾向。
- 都市圏別では、3大都市圏で「いじめ」と「犯罪や事件に巻き込まれること」が地方圏に比べて高く、逆に、地方圏では「交通事故」への不安が高めである。

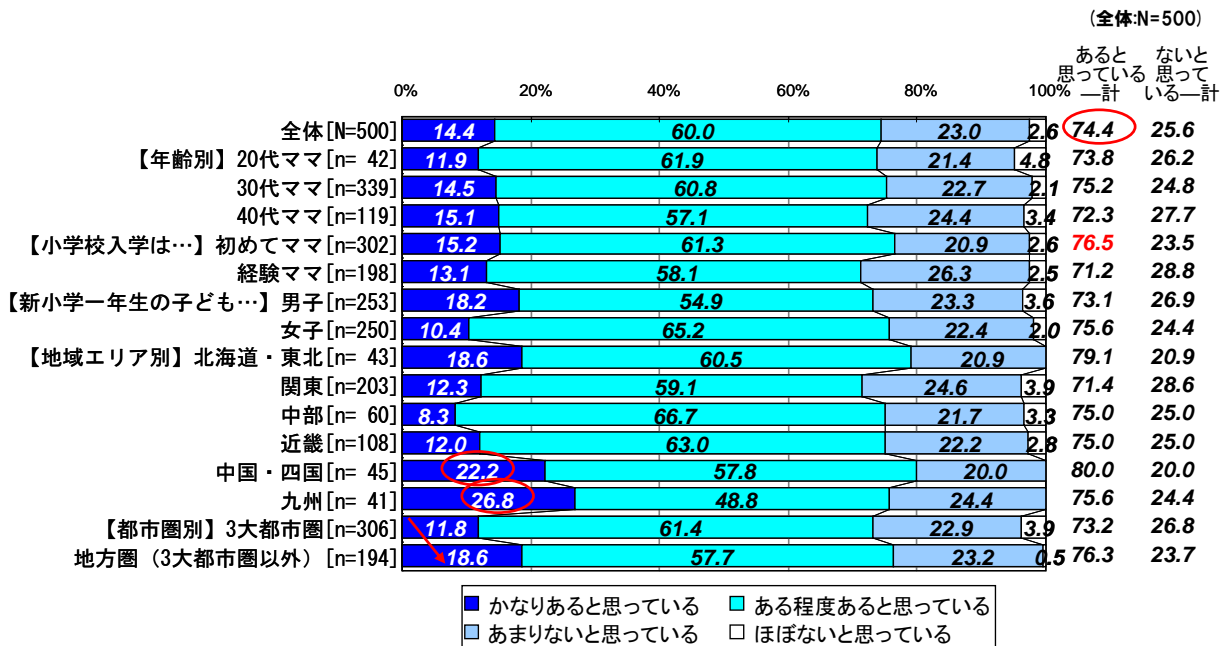


【都市圏別】の「3大都市圏」は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県の回答者 以下同様。

## 新小学一年生の通学路・遊び場所で危険を感じる所の有無

Q. 小学校への入学を控えたお子さんの通学路や入学後のお子さんの遊び場所について、あなたが危険や不安を感じる場所はあるとお考えですか。最も当てはまるものを一つだけお答えください。(SA)

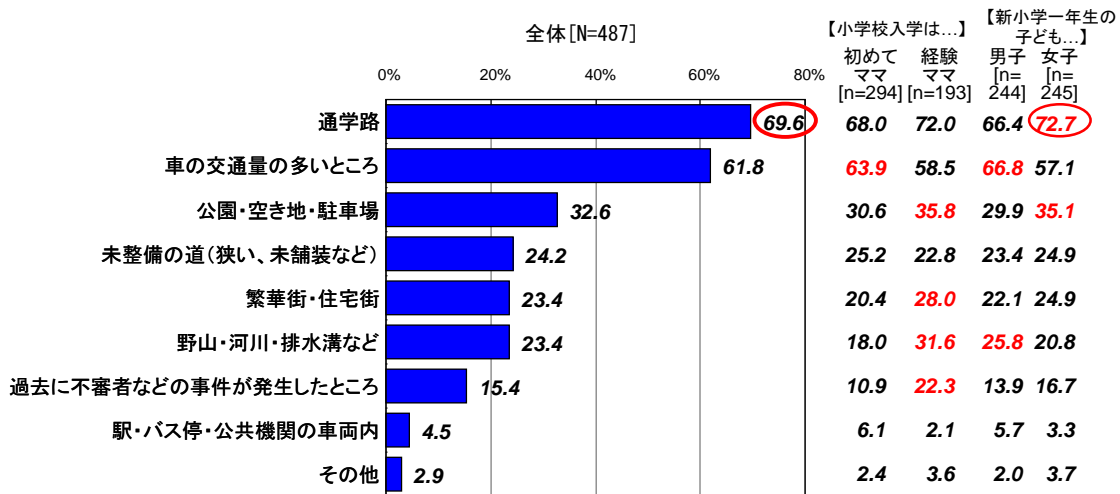
- 子どもの通学路・遊び場所で危険を感じる所が「ある」は 74.4%。「あまりない」23.0%を加えた何らかの危険を感じる所がある率は 97.4%。
- 初めてママは、経験ママに比べて「ある」がやや高め。
- 「かなりある」の率は、3 大都市圏 (11.8%)より地方圏 (18.6%)で、また、地域エリア別の中国・四国 (22.2%)、九州(26.8%)で他エリアに比べて高くなっている。



## 新小学一年生の通学路・遊び場所で危険・不安を感じる所

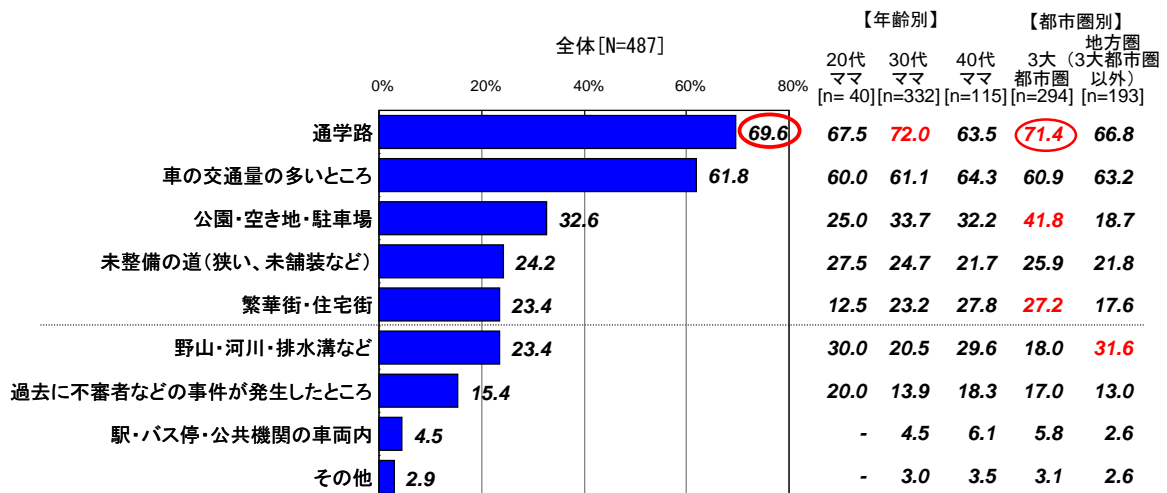
Q. 小学校への入学を控えたお子さんの通学路や入学後のお子さんの遊び場所について、実際に危険や不安を感じる場所はどのようなところですか。(MA)

- 危険・不安を感じる所は「通学路」で69.6%と約7割。次いで、「車の交通量の多いところ」が約6割。
- 「公園・空き地・駐車場」は約3割、「過去に不審者などの事件が発生したところ」は約15%。「駅・バス停・公共機関の車両内」は約5%にとどまる。
- 男の子のママより女の子のママの方が「通学路(に危険・不安を感じる)」はより高く、7割を超える。
- 「車の交通量の多いところ」は初めてのママの方が経験ママより高く、男の子のママの方が女の子のママより高い。



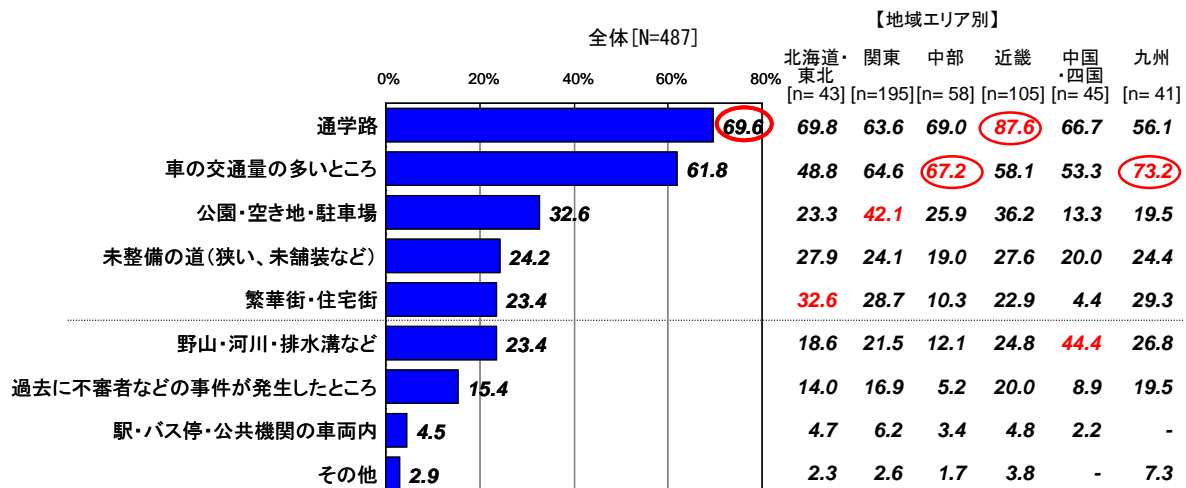
※本設問については、より詳細な設問選択肢によって得られた回答結果を、上記の分類で累積集計した数値で分析している

- 「通学路(に危険・不安を感じる)」は、地方圏(66.8%)に比べて3大都市圏で71.4%とより高い。
- 「通学路(に危険・不安を感じる)」は、30代ママで72.0%と他の年齢層よりも高い。



※本設問については、より詳細な設問選択肢によって得られた回答結果を、上記の分類で累積集計した数値で分析している

- 地域エリア別にみると、「通学路(に危険・不安を感じる)」は、近畿で 87.6%と抜きん出て高い。
- 「車の交通量の多いところ」は中部、九州で 7 割前後が危険・不安視している。

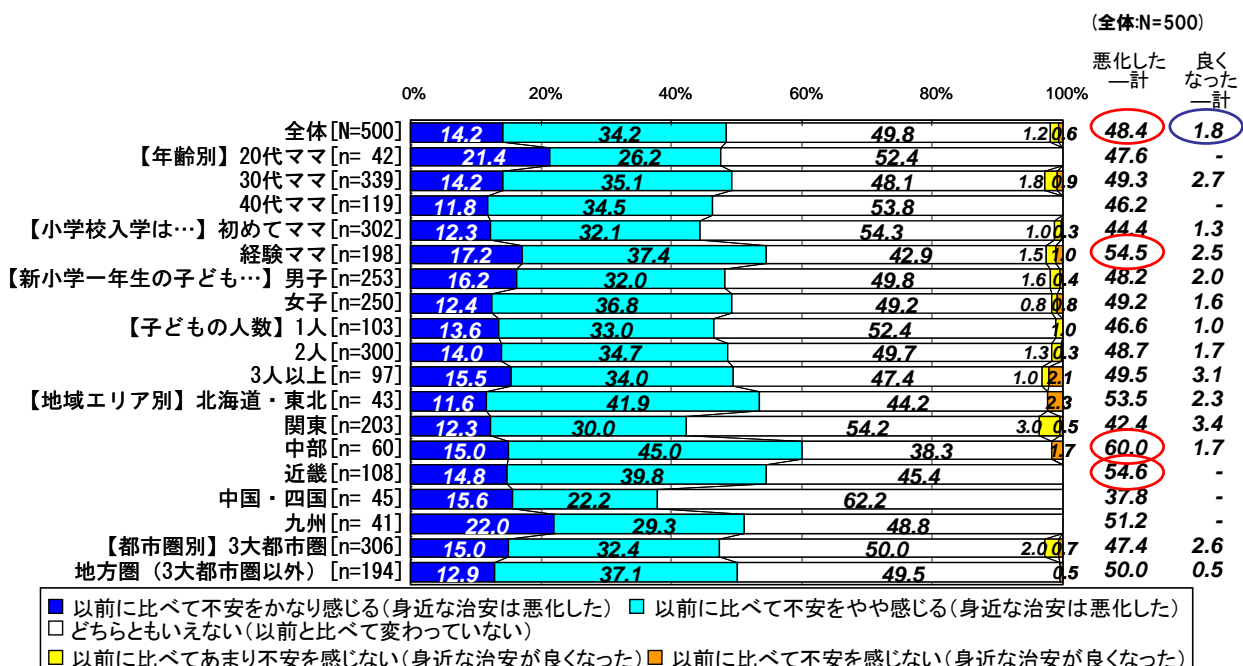


※本設問については、より詳細な設問選択肢によって得られた回答結果を、上記の分類で累積集計した数値で分析している

## 以前に比べて子どもの身近な環境の治安悪化を感じるか

Q. あなたは、以前に比べて自身の子どもの身近な環境に対する治安の悪化に不安を感じていますか。(SA)

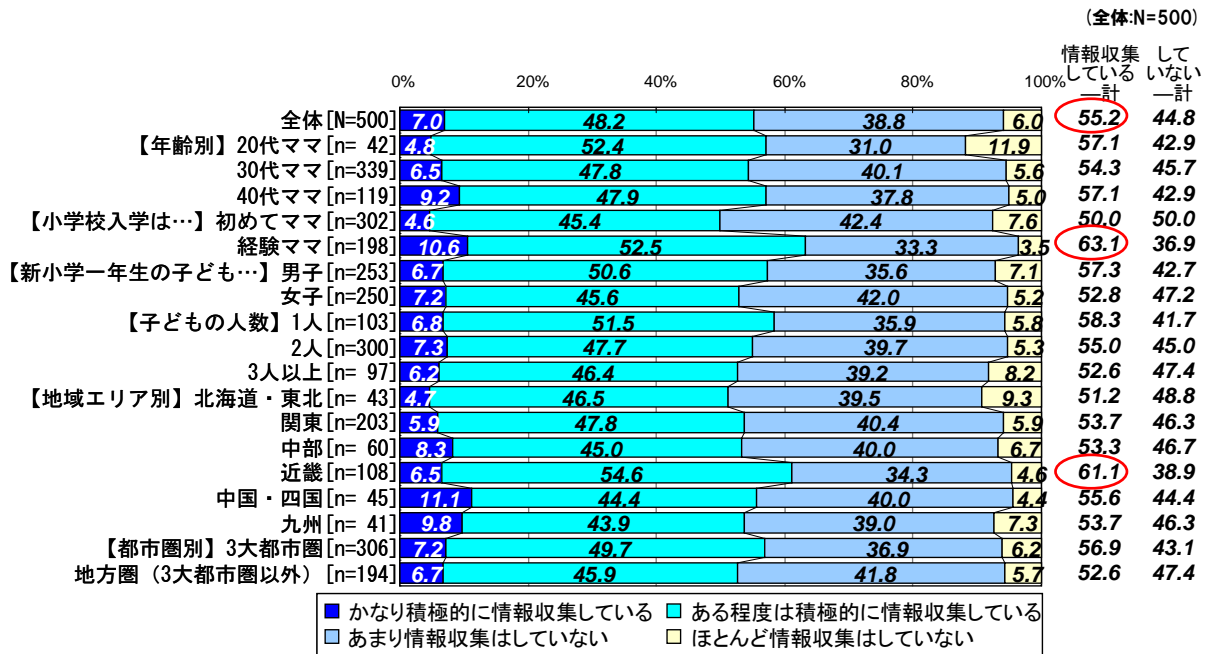
- 子どもの身近な治安については「どちらともいえない(以前と比べて変わっていない)」も 49.8%いるが、「かなり」と「やや」を合わせた「以前に比べて不安(治安は悪化した)」は 48.4%と約半数が治安悪化を感じている。「良くなった」は 1.8%とわずか。
- 以前より治安の悪化を感じている率が高いのは、経験ママ(54.5%)。また、地域エリア別の中部(60.0%)、近畿(54.6%)で高くなっている。



## 子どもの安全に関わる身近な環境についての情報収集

Q. あなたは、自身の子どもの安全に関わる身近な環境についての情報を、どの程度積極的に情報収集していますか。(SA)

- 積極的に情報収集しているママは「かなり」と「やや」を合わせて 55.2%と半数を超える。「あまりしていない」は 38.8%。
- 積極的な情報収集率が高いのは、経験ママ(63.1%)、地域エリア別の近畿(61.1%)。



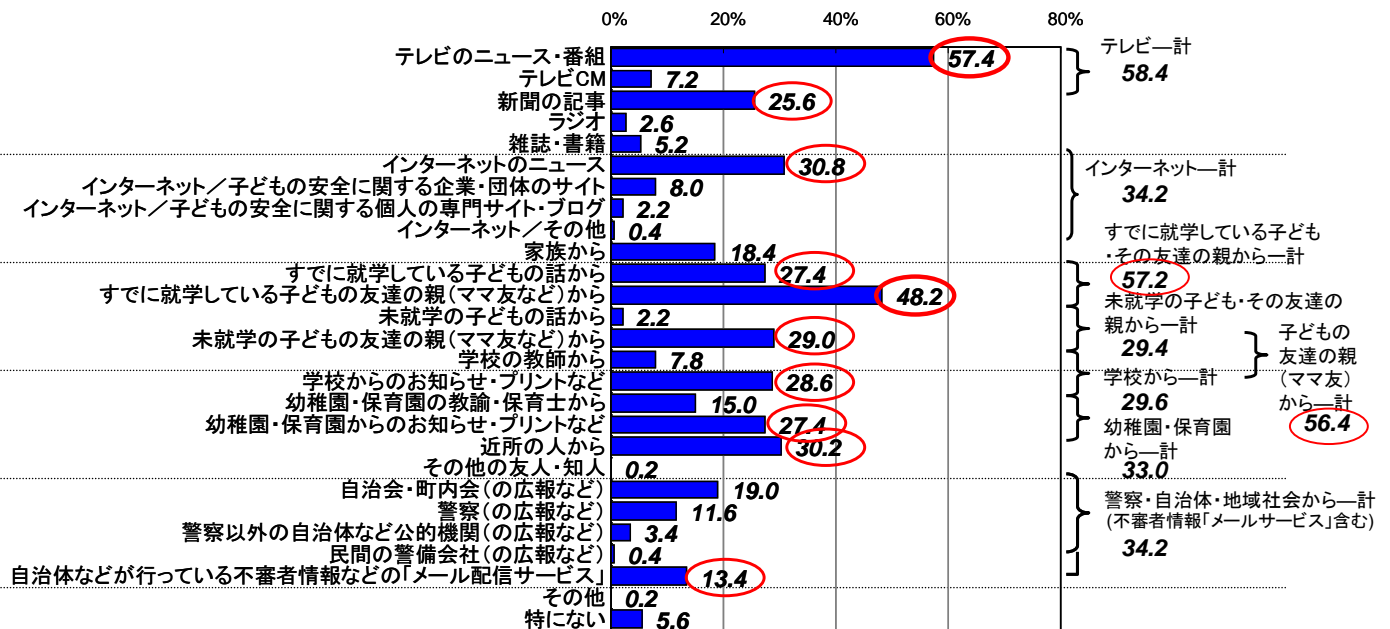


## 子どもの安全に関わる情報の入手先

Q. あなたは、普段、自身の子どもの安全に関わる情報についてどのようなところから入手していますか。(MA)

- ・ 情報源のトップは「テレビのニュース・番組」57.4%、次いで「すでに就学している子どもの友達の親から」48.2%が4割以上。
- ・ 以下、「インターネットのニュース」「近所の人から」「未就学の子どもの友達の親から」「学校からのお知らせ・プリントなど」「幼稚園・保育園からのお知らせ・プリントなど」「すでに就学している子どもの話から」「新聞の記事」など。
- ・ マスメディア以外では、身近な口コミが約6割。  
“ママ友(子どもの友達の親)”が56.4%、“すでに就学している子ども・その友達の親”では57.2%。
- ・ 自治体などが行っている不審者情報などの「メール配信サービス」は13.4%と1割強。

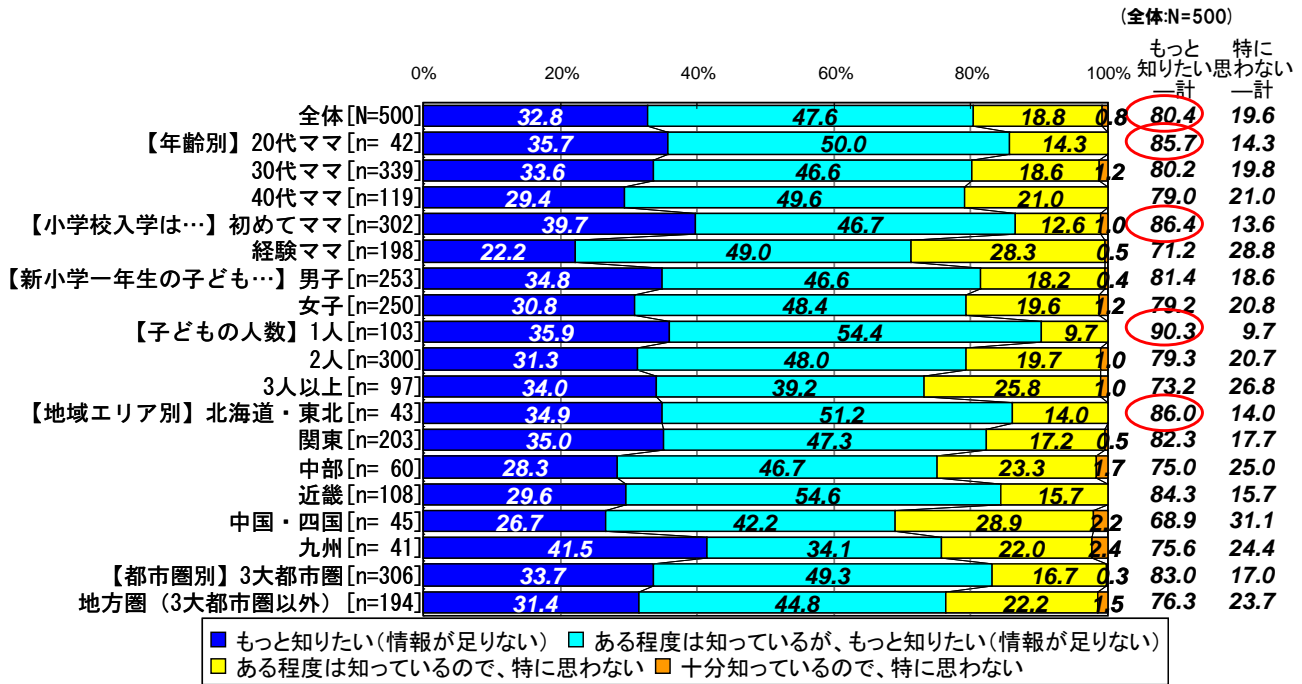
(全体:N=500)



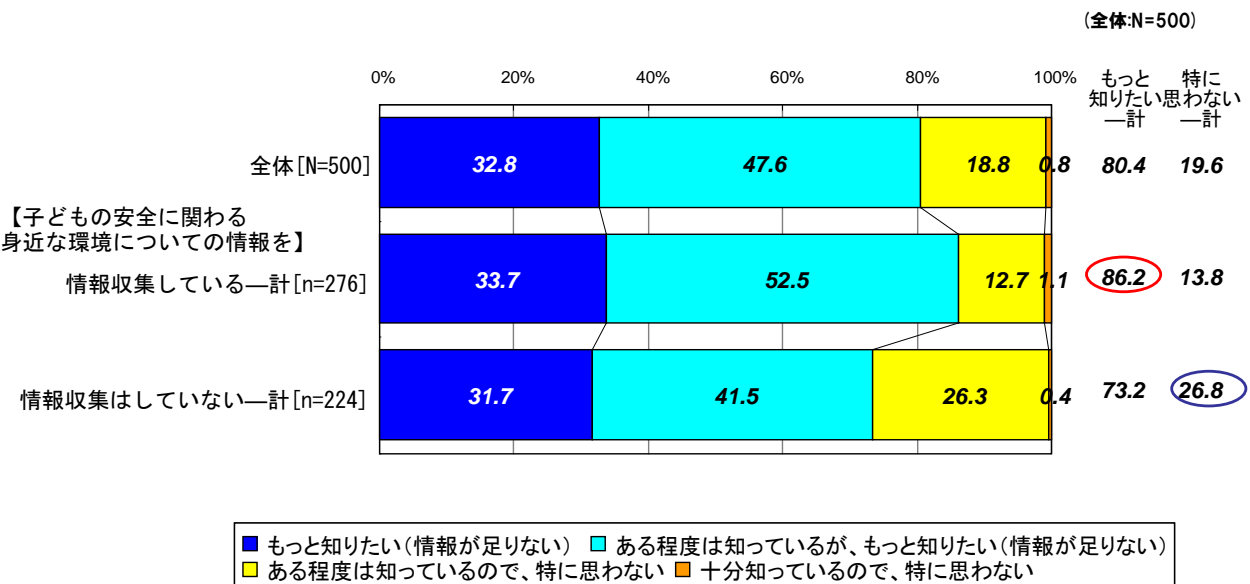
## 子どもの安全に関わる情報をもっと知りたいか

Q. あなたは、自身の子どもの安全に関わる情報を、もっと知りたい（情報が足りない）と思いますか。（SA）

- もっと知りたい(情報が足りない)ママは合わせて80.4%と高率。
- より強く「情報が足りない」と感じているのは、20代の若いママ(85.7%)、初めてママ(86.4%)、子どもが一人っ子のママ(90.3%)、地域エリア別の北海道・東北(86.0%)。



- 子どもの安全に関わる身近な環境についての情報を、積極的に収集しているママほど“もっと知りたい（情報が足りない）”(86.2%)としている。
- 情報収集は「あまり」+「ほとんど」していないという人のうち、26.8%は「(知っているのに)特に思わない」。

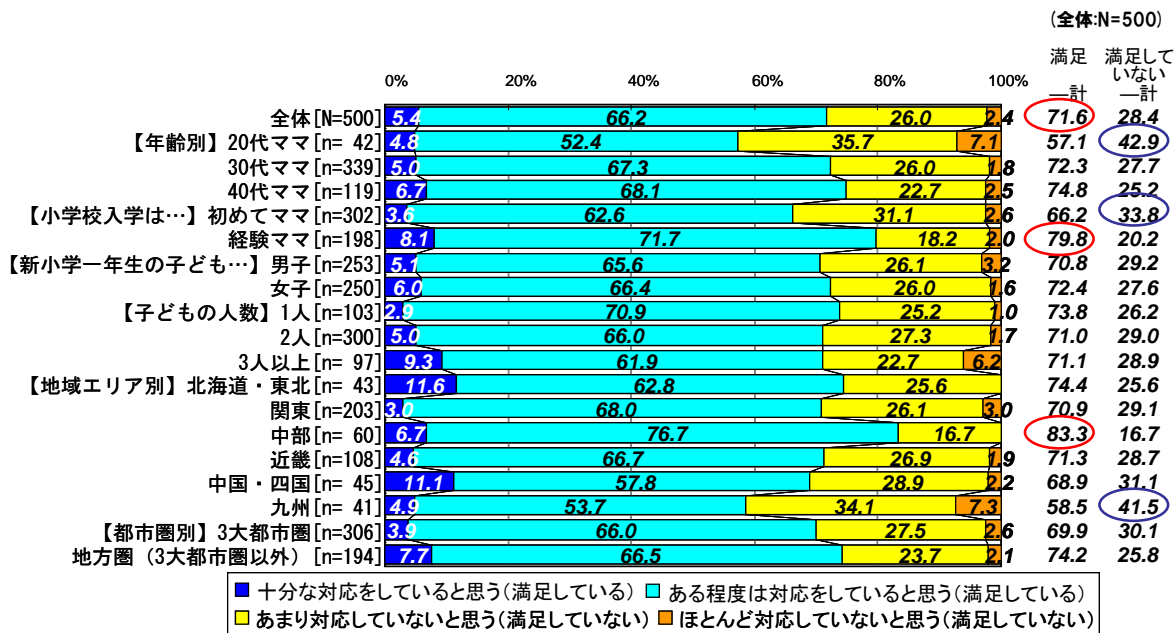




## 入学予定の小学校の「安全・防犯」対応の評価

Q. あなたは、入学を控えたお子さんが通う小学校の「子どもの安全や防犯に関わる対応」について、どのように感じていますか。※友達や地域の方の話を聞いた範囲での印象も含む。(SA)

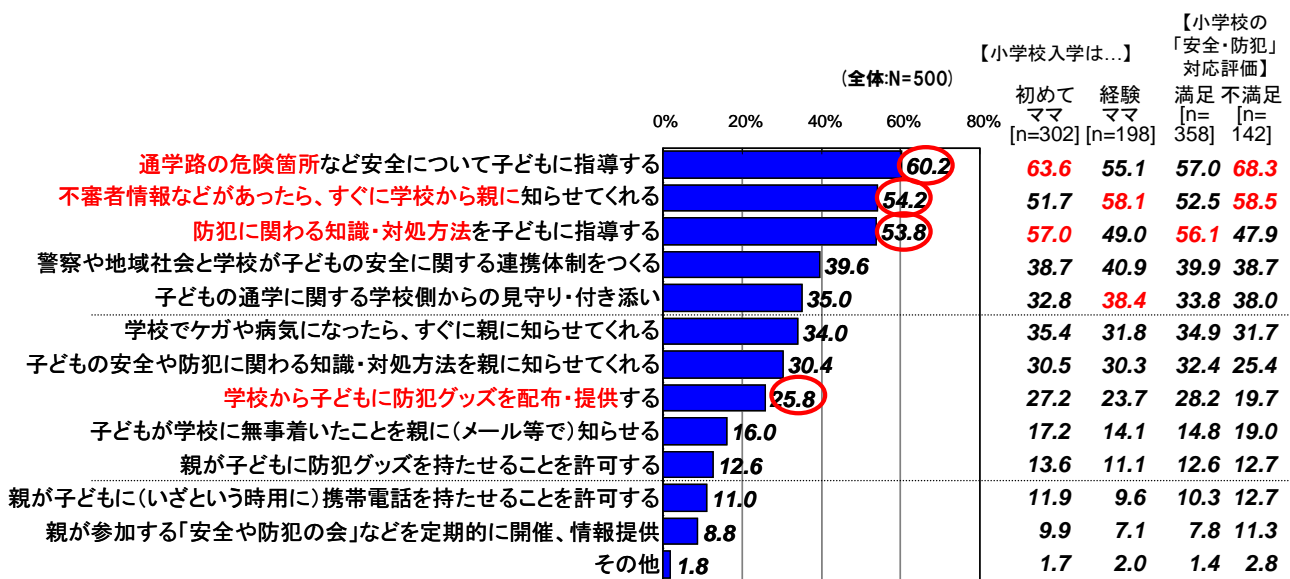
- 小学校の「安全・防犯」対応評価としては、「十分」が 5.4%、「ある程度」が 66.2%を占め、合わせて「満足」が 71.6%と高率。「満足していない」は 28.4%。
- 満足度がより高いのは経験ママ、地域エリア別の中部。
- 満足度が低いのは、20代ママ(42.9%)、初めてママ(33.8%)、地域エリア別の九州(41.5%)。



## 入学予定の小学校に期待する「安全・防犯」対応

Q. あなたは、入学を控えたお子さんが通う小学校の「子どもの安全や防犯に関わる対応」について、今後、どのようなことを期待しますか。重視するものを5つまでお答えください。(MA->5)

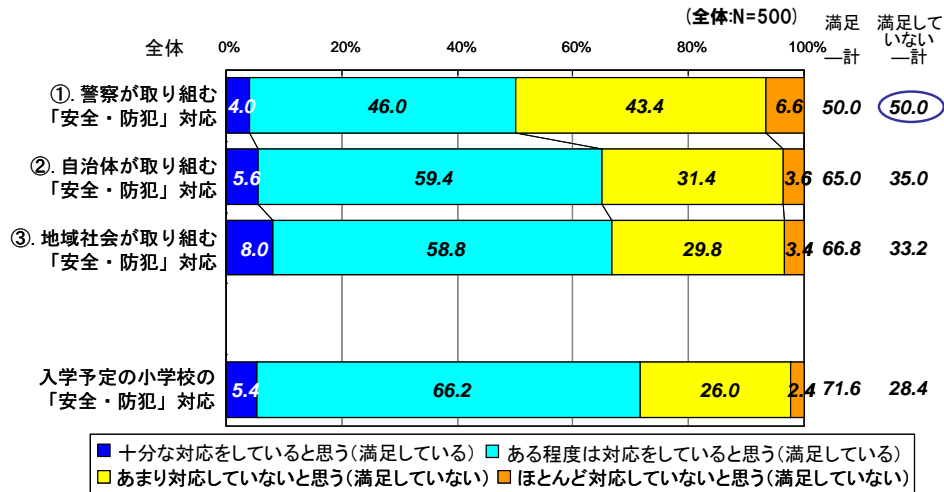
- ・ 「通学路の危険箇所など安全について子どもに指導」60.2%、次いで「不審者情報などがあつたら、すぐに学校から親に知らせてくれる」54.2%、「防犯に関わる知識・対処方法を子どもに指導」53.8%がトップ3。
- ・ 「通学路の危険箇所などの子どもへの指導」は初めてのママの方が高い。
- ・ 小学校の「安全・防犯対応評価」に不満足な層では「通学路の危険箇所などの子どもへの指導」と「不審者情報などをすぐに親へ知らせる」の要望がより顕著。
- ・ 「学校から子どもに防犯グッズを配布・提供」は25%強に。



## 警察・自治体・地域社会の「安全・防犯」対応の評価

Q. あなたは、お子さんの入学を控えた現在、身近な①警察や②自治体（区市町村や都道府県）、あるいは③地域社会（町内会・自治会、NPO など身近な住民同士）が取り組む「子どもの安全や防犯に関わる対応」について、どのように感じていますか。それぞれについてお答えください。（各 SA）

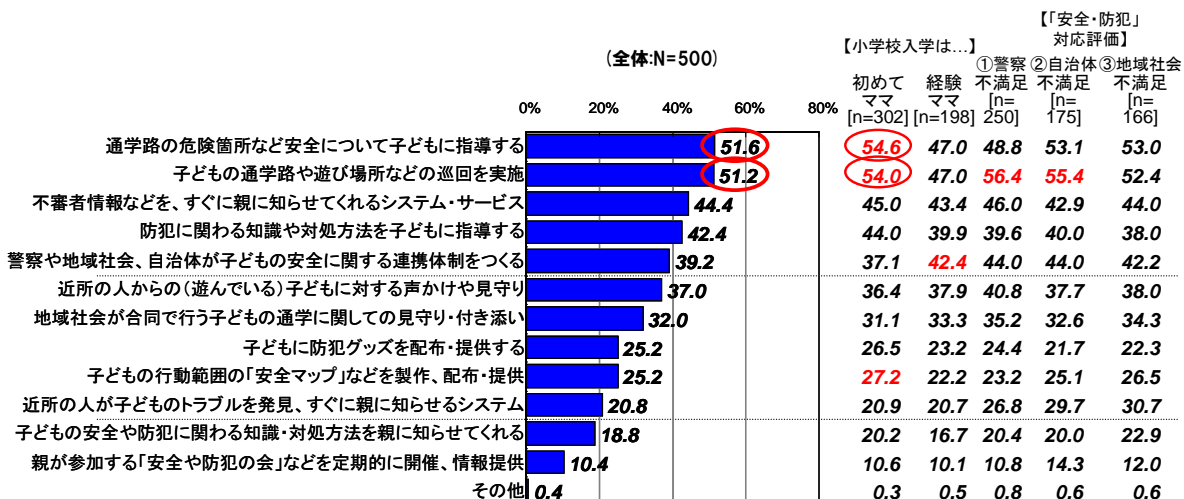
- 「安全・防犯」対応評価として、②自治体、③地域社会は「満足」が65～67%を占める。一方、①警察についての評価は全く拮抗している。  
⇒対応評価（満足度）は、入学予定の「小学校」が約7割と最も高く、「自治体」「地域社会」が続き、これらに比べると「警察」の評価は相対的に低い（不満が強め）ことになる。



## 警察・自治体・地域社会の「安全・防犯」対応

Q. あなたは、身近な警察や自治体（区市町村や都道府県）、地域社会（町内会・自治会、NPO など身近な住民同士）が取り組む「子どもの安全や防犯に関わる対応」について、今後、どのようなことを期待しますか。重視するものを5つまでお答えください。（MA->5）

- 「通学路の危険箇所などの子どもへの指導」51.6%と「通学路や遊び場所などの巡回」51.2%がトップ 2、次いで「不審者情報などをすぐに親に知らせてくれるシステム・サービス」44.4%までがトップ 3。「通学路」での防犯対策要望は強い。
- 「通学路の危険箇所などの子どもへの指導」「通学路や遊び場所などの巡回」は、初めてママで要望が強い。
- ①警察、②自治会の「安全・防犯対応評価」に不満足な層では、「通学路や遊び場所などの巡回」が各層のトップ要望。

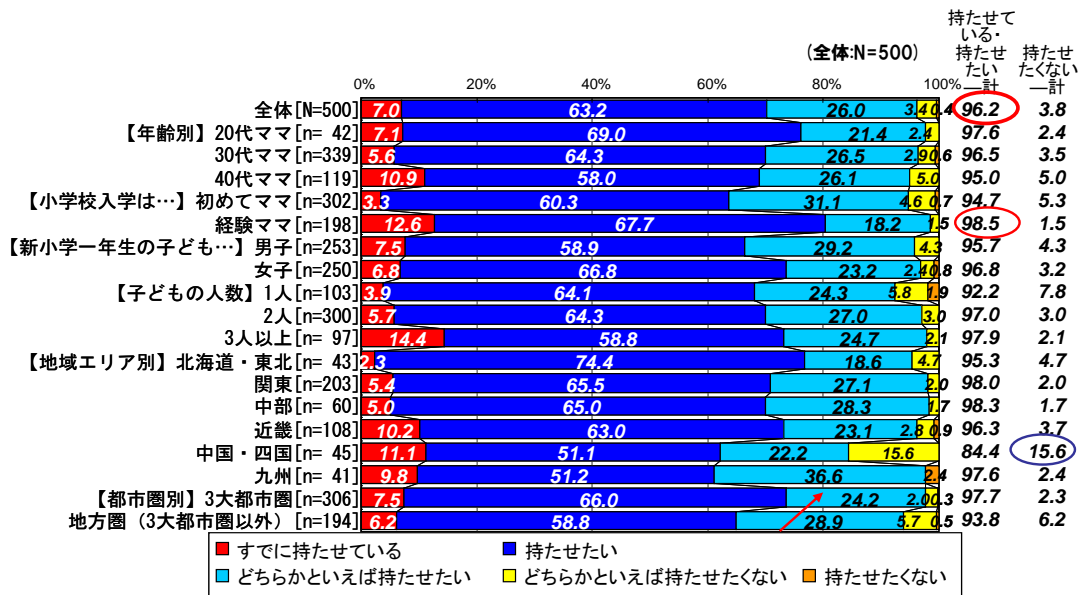


# ◆『防犯グッズ』を子どもに持たせたいか(意向)

## 新小学一年生に『防犯グッズ』を持たせたいか

Q. あなたは、小学校への入学を控えたお子さんに、入学にあたって防犯グッズ（防犯ブザーなど）を持たせたいとお考えですか。（SA）

- 『防犯グッズ』を「すでに持たせている」は7.0%。“持たせたい”との意向は合わせて、96.2%と圧倒的。
- 経験ママでは“持たせたい”が98.5%に達する。
- 地域エリア別の中国・四国では“持たせたくない”が15.6%と相対的に高め。また、3大都市圏の方が地方圏に比べてより意向が高い傾向。



## 新小学一年生に『防犯グッズ』を持たせたい理由

Q. あなたが、お子さんの入学にあたって防犯グッズ（防犯ブザーなど）を持たせたい（すでに持たせている）とお考えの理由は何ですか。（MA）

- “持たせたい”理由のトップは、「子どもが一人で外を歩くことに不安を感じるから」53.0%。次いで、「小学生に防犯グッズを持たせることは今や常識だと思うから」43.0%。「最近治安が悪化していると感じるから」「通学路などの安全・防犯に不安を感じるから」が3割台で続く。
- 初めてママでは、「一人で外歩きに不安」「とりあえず、親として安心できるから」がより高め。また、「小学生に防犯グッズは今や常識」は、経験ママ、女の子のママでより高め。

